

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【公開番号】特開2014-101245(P2014-101245A)

【公開日】平成26年6月5日 (2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2012-253606(P2012-253606)

【国際特許分類】

C 0 1 B 13/11 (2006.01)

H 0 1 T 23/00 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 13/11 C

H 0 1 T 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月27日 (2015.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管状のオゾン生成ユニットを備えたチューブ型のオゾン生成装置であって、
前記オゾン生成ユニットは、
円筒状の外側電極管と、
放電ギャップを隔てて前記外側電極管の内側に配置される内側電極管と、
を有し、

前記内側電極管は、
円筒状の誘電体管と、
前記誘電体管の内周面に密接した円筒状の電極と、
を有し、

前記電極が、丸められた弾性を有する板状の導体からなり、それ自体の弾性力で前記誘電体管の内部で半径方向外側に拡がることによって当該誘電体管の内周面に密接するとともに、取り外し可能な状態で前記誘電体管に挿入されているオゾン生成装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のオゾン生成装置において、

前記電極が、当該電極から延びる端子リードを介して外部電源と電氣的に接続されているオゾン生成装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のオゾン生成装置において、

前記内側電極管は、更に、前記誘電体管に挿入された端子棒を有し、

前記端子棒に、半径方向に延びた前記導体の一端が接合され、

前記電極が、前記端子棒を介して外部電源と電氣的に接続されているオゾン生成装置。

【請求項 4】

請求項 2 に記載のオゾン生成装置を製造する製造方法であって、

前記導体を筒状に丸める準備工程と、

丸めた前記導体を前記誘電体管に挿入する挿入工程と、

前記誘電体管の内部で外力を加えることなく前記導体を拡張させる拡張工程と、

を含む製造方法。

【請求項 5】

請求項 3 に記載のオゾン生成装置を製造する製造方法であって、
前記端子棒に前記導体の端部を接合する接合工程と、
前記端子棒に前記導体を巻き付ける巻付工程と、
前記導体が巻き付けられた前記端子棒を前記誘電体管に挿入する挿入工程と、
前記誘電体管の内部で外力を加えることなく前記導体を拡張させる拡張工程と、
を含む製造方法。